

Godox 神牛

AD200^{Pro}

ポケットフラッシュ



深圳市神牛摄影器材有限公司
GODOX Photo Equipment Co., Ltd.

所在地/Add: 深セン市宝安区福海街道塘尾社区耀川工業区厂房2棟1階~4階、4棟1階~4階
1st to 4th Floor, Building 2/ 1st to 4th Floor, Building 4, Yaochuan Industrial Zone,
Tangwei Community, Fuhai Street, Bao'an District, Shenzhen, China
電話 / Tel: +86-755-29609320(8062) ファックス / Fax: +86-755-25723423
電子メール/E-mail: godox@godox.com
705-AD20P0-03 Made In China <http://www.godox.com>



取扱説明書

はじめに

安全に本製品を使用することを確保するため、予め本取扱説明書をよく読んでください。

必要な時にすぐに取り出せるように大切に保管してください。

この度は神牛の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

AD200ProフラッシュはワイヤレスTTLフラッシュであり、3種類のチューブを使うことができます。内蔵神牛2.4GワイヤレスXシステムを採用しており、弊社のX1シリーズトリガーと合わせると、リモートでTTL/M/Multiモードを制御してAD200Proの発光をトリガーでき、また、TTLマスター・スレーブ機能を利用して、神牛TTLカメラフラッシュ、TTL屋外撮影用ランプ、TTLスタジオランプを組み合わせて使用できる。AD200Proフラッシュを使用することによって、より簡単な撮影体験を得ることができ、光線変化の複雑になった場合に、自動的に正しいフラッシュ露出が得られ、撮影がより手軽になります。

WITSTROフラッシュシステムはフラッシュ、ワイヤレスリモコントリガーと各種光学アクセサリからなるポータブルフラッシュソリューションです。AD200Pro WITSTROフラッシュは小型で持ち運びに便利で、パワーが強く、電池容量が大きく、始終ハイスピードをサポートでき、むき出しフラッシュチューブとスタンダード反射カバーは屋外撮影と実景撮影に優れた光質を提供します。本製品は携帯性と高効率光質を兼ね備えており、フリーランスカメラマン、新聞記者、マニア、撮影ファン、ウェディングドキュメンタリーカメラマンなどの理想的な光源です。

本製品は下記のメリットがあります。

ワイヤレスTTLシステム完全互換：内蔵神牛2.4GワイヤレスXシステムを採用しており、Canon、Nikon、Sony、Fuji、Olympus、PanasonicとPentaxカメラのTTL/M/Multiなどの機能に対応できます。ワイヤレス多灯発光システムのスレーブユニットとすることができ、撮影は簡単で便利です。

パワー強く、小型で便利：フラッシュパワーは200Wに達しており、カメラフラッシュ（例えば600EX）の3倍であるが、体積がほぼ同じであり、持ち運びに便利です。

互換性ランプヘッド、複数発光方式：ストレートチューブランプヘッド：携帯に便利であり、マルチグループの光学レンズを有しており、発光は均一であり、LEDモデリングランプを持っています。

むき出しチューブランプヘッド：360°発光、差し込み口は神牛AD200Pro差し込み口を採用し、10種類以上光学アセンブリーの組合わせによって、小型で携帯にべんり、豊かで実用性が高いです。

高品質VAディスプレイ：表示は直感であり、操作はより手軽です。

内蔵2.4Gワイヤレス伝送：100m超長距離で、クリエイティブは無限です。

スタジオ光質：パワーは200Wsに達しており、ガイドナンバーはGN60(むき出しチューブランプヘッド)/GN52(ストレートチューブランプヘッド)です。

専門光源：国際ブランド電池使用、大容量電源ボックス(14.4V/2900mAh)、0.01-1.8sリサイクル、500回以上フル発光。

ワイヤレスコントロール：神牛2.4GワイヤレスXシステムを内蔵しており、TTLコントロールを実現できます。外付けの場合、神牛FT-16リモコンを使用でき、フラッシュのパワーなどをワイヤレスでコントロールし、また、シンクロにフラッシュをトリガーできます。同時に、3.5mmシンクロソケットがあり、複数シンクロトリガー方式を実現できます。

精確な調光：パワー調整範囲が大きく（1/1-1/256）、81レベルで精確に微調整でき、光効率をより手軽に把握できます。



色温度コンスタント：フルレベル変動±100K範囲以内（色温度コンスタントモード）。

高級機能：1/8000秒ハイスピードシンクロ、ハイスピードストロボ、ハイスピードリモコンシンクロトリガーなどをサポートします。



警告

- ▲ 乾燥を保ってください。
- ▲ 自分勝手に本製品を分解しないでください。製品に故障が出た場合、本社または授權された専門業者よりチェックし、メンテナンスします。
- ▲ 子供に本製品を触れさせないでください。
- ▲ 分解したり、ショックしたり、押ししたり、火の中に投げたりしてはいけません。厳しく膨らむと、引き続き使用しないでください。50℃を超えた高温環境で置かないでください。
- ▲ フラッシュを人の目（特に赤ちゃんの目）に当てて発光しないでください。そうしないと、短時間に視力障害を起こす恐れがあります。
- ▲ 化学品、可燃性ガスまたは他の特殊物質の近くでフラッシュを使わないでください。これらの物質は特殊な状況でフラッシュに対し瞬間的な強光過敏を起こし、火災または電磁干渉をもたらす恐れがあります。このような場合、関係警告マークを参照してください。
- ▲ 本製品は防水できないため、雨天または湿っぽい環境で防水に注意してください。
- ▲ いかなる故障が起こった場合、直ちにフラッシュの電源をOFFにしてください。

目次

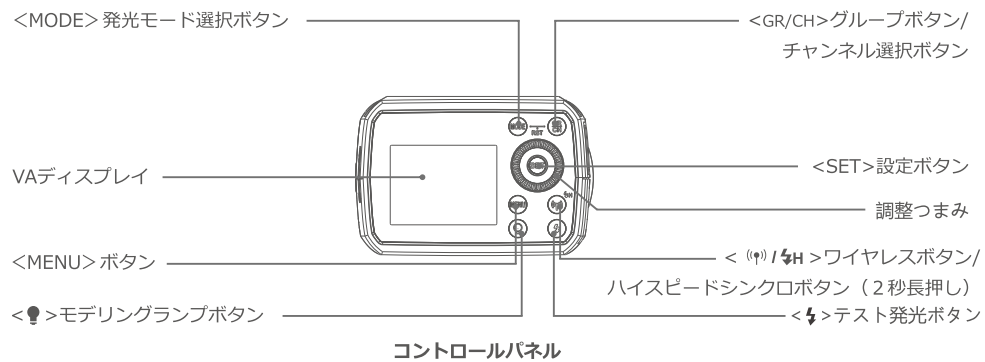
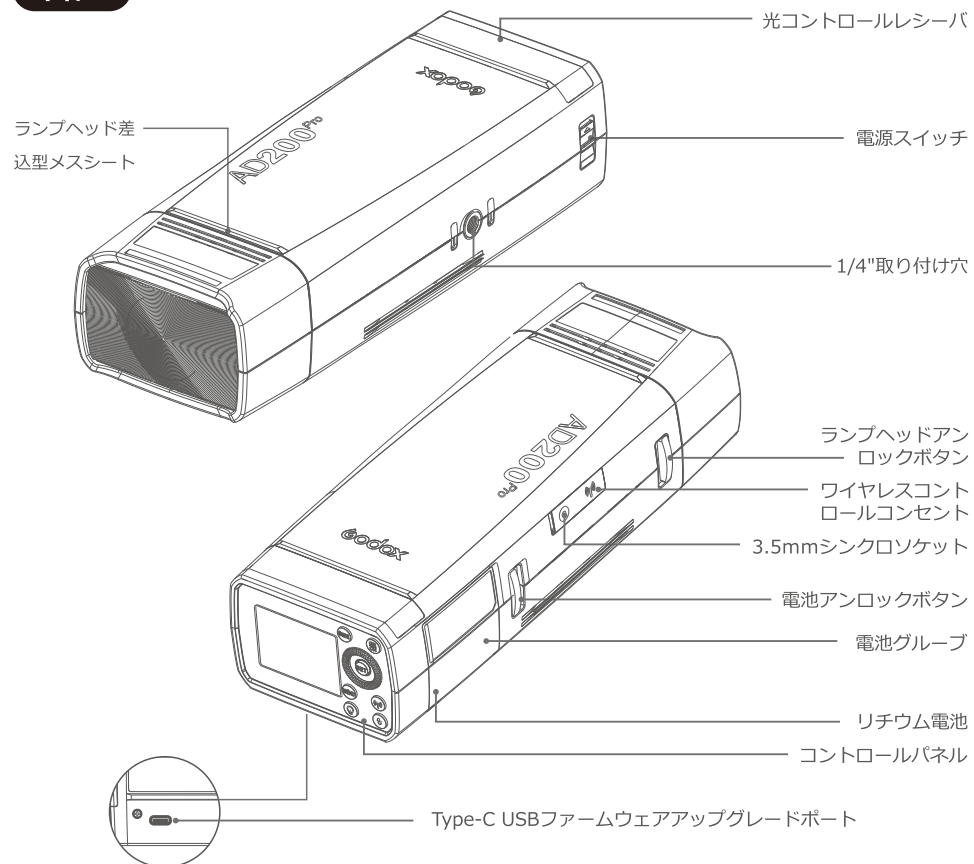
01	はじめに
02	警告
05	部品名称
	本体
	ランプヘッド
	VAディスプレイ
	付属品
	別売オプション品
	むき出しチューブランプヘッドフラッシュチューブの着脱
09	電池
10	電源管理
10	モデリングランプ
10	ワイヤレスモードの選択
11	発光モード--TTL自動発光モード
	TTLモード
	 フラッシュ露出補正
	 ハイスピードシンクロ
12	発光モード--M：手動発光
14	発光モード--Multi：ストロボ発光
15	ワイヤレスフラッシュ撮影：ワイヤレス（2.4G）伝送
17	C.Fn：カスタム機能の設定
18	他の応用
	外付けワイヤレスコントロール機能
	シンクロソケットトリガー
18	保護機能
20	仕様
21	ファームウェアアップグレード
21	メンテナンスと保守

本取扱説明書の中で使われている約定

- 本取扱説明書に記載された操作ステップはカメラとフラッシュの電源スイッチがONにされているとします。
- ページ参照は（**ページ目）の形式で表示されます。
- 本取扱説明書は下記の警告マークを使います。
-  この「留意」マークは撮影問題を避けるための警告です。
-  この「注意」マークは補充情報を提供する意味を表します。

部品名称

本体 :



部品名称

ランプヘッド :

ストレートチューブランプヘッド :



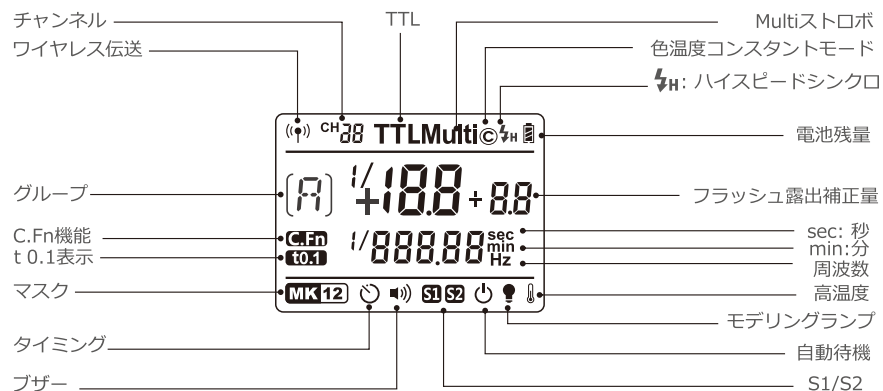
むき出しチューブランプヘッド :



部品名称

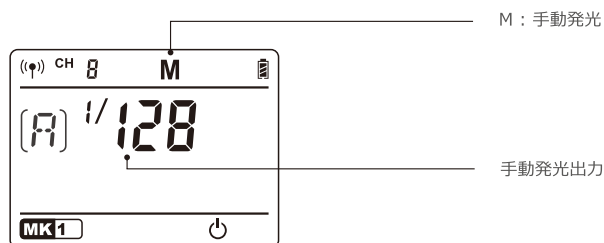
VAディスプレイ

(1) ディスプレイ

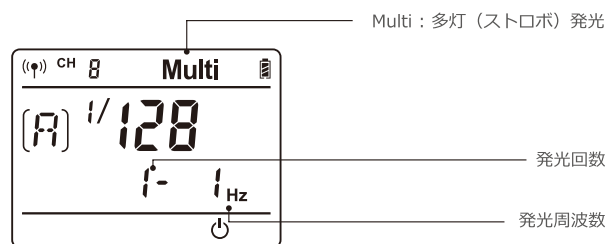


- ディスプレイはカレント応用の設定のみを表示します。
- ボタンまたはダイヤルを操作する時に、液晶ディスプレイは点灯します。

(2) M手動発光

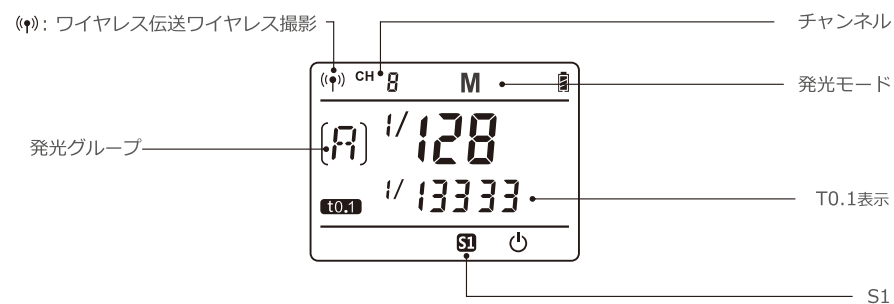


(3) Multiストロボ発光

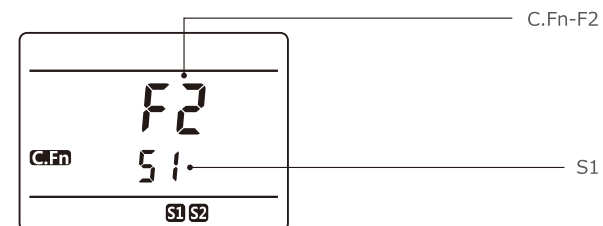


部品名称

(4) ワイヤレス伝送撮影



● S1/S2



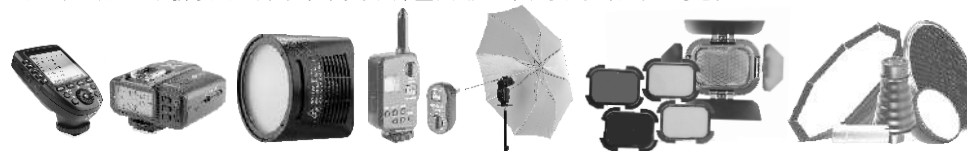
付属品

1. ストレートチューブランプヘッド
2. むき出しチューブランプヘッド
3. AD-E2ブラケット
4. 充電器
5. 電池
6. 保護袋
7. 取扱説明書



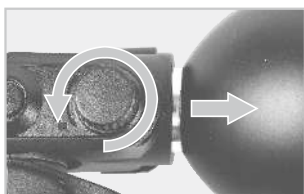
別売オプション品

弊社の下記撮影アクセサリと合わせて使用し、最適な撮影効果と使用体験を得ることができます。
XPro、X1シリーズトランスミッター、H200R丸型口金、FT-16リモコン、小蜂巣セット、ソフトボックス、レーダーカバー、折りたたみソフトボックス傘型、スヌート、ランプホルダーなど。

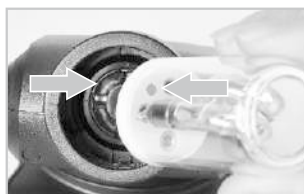


部品名称

むき出しチューブランプヘッドフラッシュチューブの着脱



1、リフレクターまたは他のアクセサリを取り外します。



2、フラッシュチューブの赤色ポイントマークをフラッシュソケットの赤色マークに合わせて、フラッシュを差し込みます。

電池

特徴

- 1.本製品は国際有名ブランドリチウム電池を使っており、500回の充放電サイクルをサポートし、耐用期間が長いです。
- 2.安全で信頼性が高く、内蔵回路は過充電保護、過放電保護、過電流保護、短絡保護を有しています。
- 3.付属している電池充電器を使う場合、4時間ぐらいで満充電になります。

注意事項

- 1.極性反転と短絡を避けてください。
- 2.電池は防水機能を有していないため、電池を霧または水の中に浸さないでください。
- 3.子供の手に届かないところに置いてください。
- 4.充電する場合、電池を24時間以上放置しないでください。
- 5.電池を涼しくて乾燥と通気の良いところに保管してください。
- 6.電池を火の近くまたは火の中に置かないでください。
- 7.電池を廃棄する時に地元のルールに従って処理してください。
- 8.長期間にわたって使わなかった場合、60%まで充電してから放置してください。
- 9.3ヶ月以上電池を使わなかった場合、電池を充電してください。

電池残量指示

リチウム電池を正しくフラッシュに取り付けると、フラッシュに給電できます。使用時に、フラッシュのディスプレイにある電池アイコンをチェックするだけで電池残量を把握できます。

VAディスプレイ残量符号表示	意味
3グリッド	電池残量はまだ十分あります
2グリッド	電池容量は減り始めました。
1グリッド	電池残量は低くなりました。
フレーム	残量が僅かで、直ちに充電してください。
点滅	電池容量がすぐ切れます、この状態でフラッシュの操作をサポートせず、1分後に自動にシャットダウンします。注：この状態になると、直ちに（10日内）充電してから、使用したり、放置したりすることができます。

電源管理

電源スイッチは本製品の起動とシャットダウンを制御します。長時間にわたって使わない場合、電源を切ってください。本製品は電源自動待機機能を有しています。長期間（30/60/90分）で操作しなかった場合、フラッシュは自動に待機します。

C.Fn オフカメラ使用時に、カスタム機能を通じて「自動待機」機能をディスプレイにさせることをおすすめします（C.Fn-F3 17ページ目）。

モデリングランプ

ストレートチューブランプヘッドのみモデリング機能を有しています。モデリングランプは点灯してから30分経つと、自動に消灯します。モデリングランプボタンを短押しするだけで、モデリングランプのオン・オフをコントロールできます。

ワイヤレスモードの選択

AD200Proはスレーブユニット（レシーバ側）のみに利用されます。ワイヤレスボタンを2秒長押しする、ワイヤレス機能を切り替えることができます。

ワイヤレスモード	発光モード
OFF	M/Multi
ワイヤレス	TTL/M/Multi

発光モード--TTL自動発光モード

このフラッシュはTTL自動発光、M手動発光とMultiストロボ発光という三つのモードを有しています。TTLモードで、カメラの測光システムは被写体から反射して返ってきた発光照明を計測し、自動に発光出力を調整し、被写体と背景を均一に露出させます。
 <MODE/Z>モード選択ボタンを押すと、三つの発光モードは順次に液晶ディスプレイに表示されます。

TTLモード

<MODE/Z>モード選択ボタンを押して、フラッシュを<TTL>に設定することによって、フラッシュをTTLモードに入らせます。

フラッシュ露出補正

当該フラッシュは±3段の間で1/3段をステップとしてフラッシュ露出補正を調整できます。環境の原因でTTLシステムを微調整する必要がある場合、この機能は非常に役立ちます。

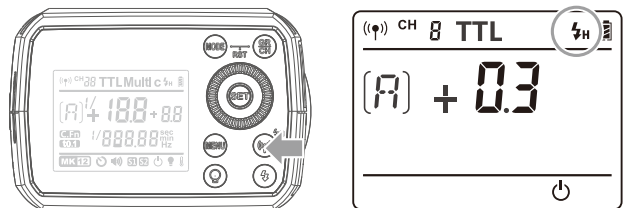
フラッシュ露出補正の設定：



- 1 <SET> 設定ボタンを押すと、フラッシュ露出補正量は点滅して表示します。
- 2 フラッシュ露出補正量を設定します。
 - 調整つまみを回して、露出補正量を設定します。
 - 「0.3」は1/3段を示し、「0.7」は2/3段を示します。
 - フラッシュ露出補正を取り消したい場合、フラッシュ露出補正量を「+0」に設定するだけで良いです。
- 3 <SET> 設定ボタンを押して、フラッシュ露出補正を確認します。

ハイスピードシンクロ

ハイスピードシンクロ（FP発光）を使うと、あらゆるシャッター速度でシンクロでフラッシュを使うことができます。ハイスピードシンクロ発光は絞り優先を使って人物に対し充填発光を行なう時に特別に便利です。

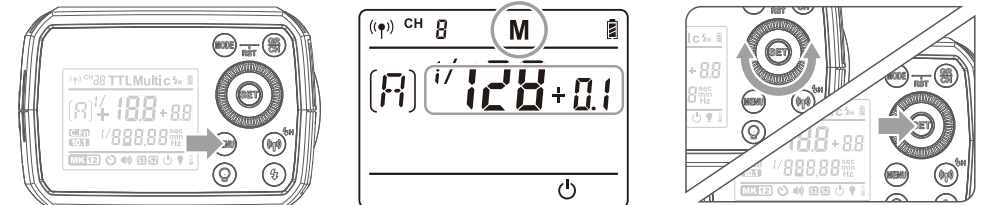


- 1 ハイスピードシンクロボタンを2秒長押しして、ディスプレイに<H>アイコンを表示させます。
- 2 トランスミッターはX1シリーズトランスミッターを使ってください。

- ハイスピードシンクロを使う場合、シャッター速度は高いほど、有効発光範囲は小さくなります。
- ハイスピードシンクロモードで、ストロボ発光を設定できません。
- 引き続きハイスピードシンクロ発光を20回行った後、フラッシュの熱保護機能はイネーブルにされる可能性があります。

発光モード--M：手動発光

1/256パワー～1/1フルパワーの間で1/10段をステップとして発光出力を設定できます。正しいフラッシュ露出を獲得するため、手持ちのフラッシュ測光表を使って必要とする発光出力を確定してください。



- 1 <MODE/Z>モード選択ボタンを押して、ディスプレイに<M>を表示させます。
- 2 調整つまみを回して、発光出力パワーを設定します。
- 3 <SET> 設定ボタンを押して、フラッシュ露出補正を確認します。

発光モード—M:手動発光

S1光制御ユニットの設定

M手動発光モードで、MENUボタンを押して、C.Fn-F2に入り、S1機能を選択すると、フラッシュはサブフラッシュとして使うことができ、複数の照明効果を創り出すことができ、手動発光環境に適用されます。これはメインフラッシュの第1回発光と同調して発光をトリガーし、その効果はワイヤレスフラッシュトリガーを使うことと一致します。

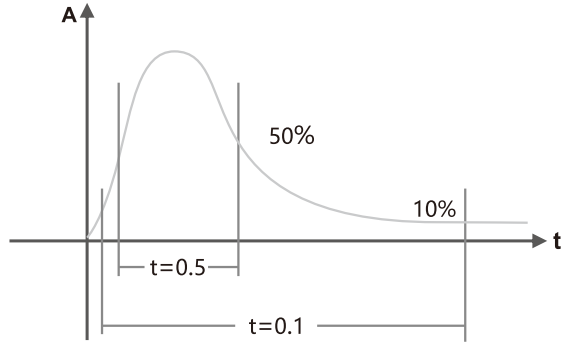
S2光制御ユニットの設定

M手動発光モードで、MENUボタンを押して、C.Fn-F2に入り、S2機能を選択すると、フラッシュはサブフラッシュとして使うことができ、TTL発光環境に適用します。予備発光機能を持ち、1回予備発光機能付きのカメラを使う時に光制御によってシンクロ撮影を実現できます。これはメインフラッシュの第2回発光と同調して発光をトリガーし、即ち、2回光制御トリガーです。

● MモードのみでS1/S2光制御トリガーモードをサポートします。

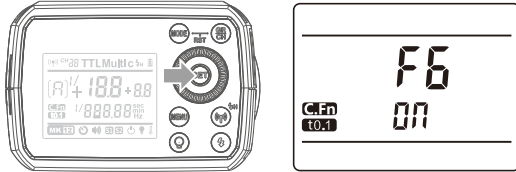
発光持続時間の表示

発光持続時間はフラッシュが発光開始から発光半値幅に達するまでの時間長さを指します。半値幅の表示は $t = 0.5$ です。カメラマンにより詳しい撮影数値を提供するため、本製品は $t = 0.1$ を採用しています。 $t = 0.5$ と $t = 0.1$ の区別は下記の図に示す通りです。



発光持続時間表示の操作:

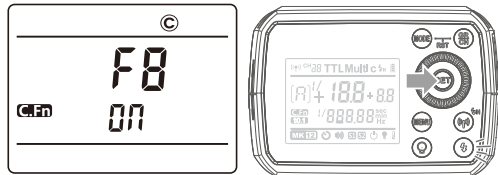
1. MENUボタンを押してC.FN機能に入ります。
 2. 調整つまみをF6に回し、この時、t 0.1アイコンが表示されます。
 3. <SET> 設定ボタンを押して調整状態に入ります。
 4. 調整つまみを回して選択します。
- On: 発光持続時間を表示します。
OFF: 発光持続時間を表示しません。



● Mモードのみで持続時間を表示します。

色温度コンスタント

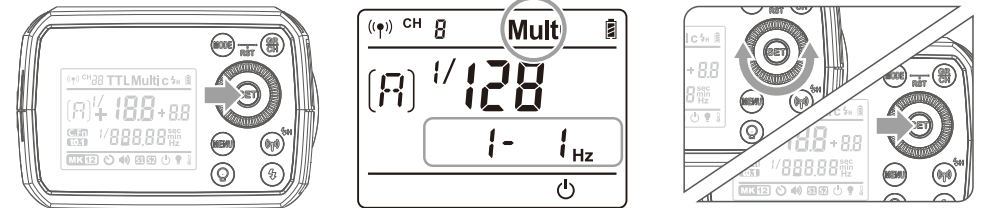
この機能を使う場合、フルレベル色温度変動は±100Kぐらいです。MENU C.Fn-F8に入り、ONに設定すると、色温度コンスタントがスタートします。Mモードでパワー値を大きい方から小さい方へ調整する場合、トリガーボタンインジケータは点滅します。(ブザーが1分間鳴きます。)この時に、トリガーボタンを押して放電した後、正常に使用できます。



● M非ハイスピードモードのみで、色温度コンスタントをサポートします。

発光モード--Multi: ストロボ発光

ストロボ発光を使用して、快速なシリーズ発光を出すことができます。このモードで1枚写真の上で移動被写体の複数画像を撮影できます。この機能を持って、発光周波数(秒毎の発光回数、Hzで表示されます)、発光回数と発光出力を設定できます。



- 1 <MODE/△>発光モード選択ボタンを押すと、ディスプレイに<MULTI>を表示させます。
- 2 調整つまみを回して発光出力パワーを設定します。
- 3 発光周波数と発光回数を設定します。
 - <SET> ボタンを押して発光周波数を選択し、調整つまみを回して数値を設定します。
 - <SET> ボタンを押して発光回数を選択し、調整つまみを回して数値を設定します。
 - <SET> 設定ボタンを押して確認すると、あらゆる設定はいずれも表示されます。

シャッター速度の計算

ストロボ発光過程において、発光停止までシャッターは起動状態を保持すべきです。下記の計算式によってシャッター速度を計算してから、カメラで設定します。

$$\text{発光回数/発光周波数} = \text{シャッター速度}$$

例えば、発光回数は10であり、発光周波数は5Hzであるとする、シャッター速度は少なくとも2秒になります。

⚠ フラッシュヘッドの過熱と損傷を防ぐため、引き続き10回以上のストロボ発光連続撮影を行なわないでください。発光10回後、フラッシュを少なくとも15分冷却させてください。引き続き10回以上のストロボ発光連続撮影を行なってみたい場合、フラッシュヘッドの過熱を防ぐため、発光は自動に停止することがあります。このような場合、フラッシュを少なくとも15分冷却させます。

- 反射の強い被写体の場合、暗い背景の前でストロボ発光を使うとより効果的です。
- 三脚とリモコンスイッチをおすすめします。
- 発光出力は1/1と1/2である場合、ストロボ発光を設定できません。
- ストロボ発光時でも「buLb」を使うことができます。
- 発光回数は--に表示された場合、シャッターシャットダウンまたは電池切れまでフラッシュは引き続き発光します。下記の表に示すように、発光回数は制限されます。

最大ストロボ発光回数

発光出力 \ Hz	1	2	3	4	5	6-7	8-9	10	11	12-14	15-19	20-50	60-99
1/4	7	6	5	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2
1/8	14	14	12	10	8	6	5	4	4	4	4	4	4
1/16	30	30	30	20	20	20	10	8	8	8	8	8	8
1/32	60	60	60	50	50	40	30	20	20	20	18	16	12
1/64	90	90	90	80	80	70	60	50	40	40	35	30	20
1/128	90	90	90	90	90	90	80	70	70	60	50	40	40
1/256	90	90	90	90	90	90	80	70	70	60	50	40	40

ワイヤスフラッシュ撮影：ワイヤス（2.4G）伝送

AD200Proは神牛2.4GワイヤスXシステムを使っており、弊社の他のタイプと完璧に組合わせて使うことができます。スレーブユニットとしてCanon、Nikon、Sony TTLシステムに対応でき、マスターユニットに従って自動に切り替わり、手動で設定する必要がありません。

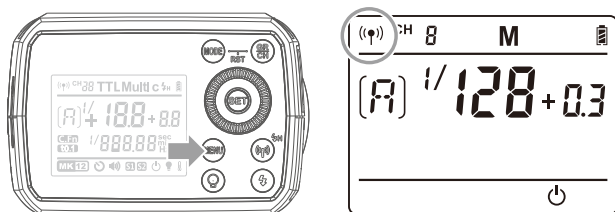
Nikonカメラ（X1T-N使用）、Canonカメラ（X1T-C使用）とSonyカメラ（X1T-Sなど使用）は同時同所で1台または複数台のAD200Pro-TTLをシェアすることができ、順調に組み合わせ、何の問題もありません。

1、ワイヤス設定

<MODE/M>ワイヤスボタンを2秒長押しすると、ワイヤス機能のスイッチを切り替えることができます。

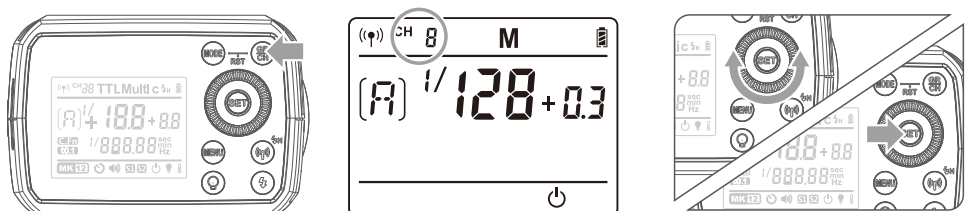
ワイヤス機能を起動した時に、ディスプレイに「(P)」を表示します。

弊社のFT-16と他のブランドのフラッシュトリガーを使う時に、ワイヤス機能をシャットダウンしてください。



2、通信チャンネルの設定

撮影現場で一つ以上のワイヤスフラッシュシステムがある場合、通信チャンネルの変更を通じて信号の干渉を防ぐことができます。マスターユニットとスレーブユニットは同じチャンネル番号に設定されたことを確保するだけで良いです。



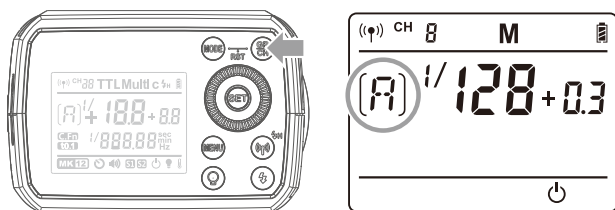
1 <GR/CH> ボタンを2秒長押しすると、チャンネルは点滅に表示されます。

2 調整つまみを回して1~32の中からチャンネルを選択します。

3 <SET> 設定ボタンを押して確認します。

3、通信グループの設定

<GR/CH> ボタンを短押しすると、A~Eグループは順次に変化します。

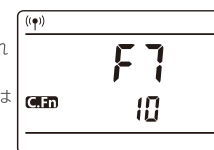


ワイヤスフラッシュ撮影：ワイヤス（2.4G）伝送

4、ID番号の設定

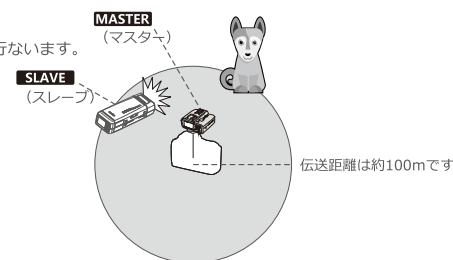
MENUボタンを押してC.Fn-F7に入り、OFF/01-99からいずれかの数字を選択できます。

(注：マスターユニットはこの機能を搭載している時だけに、はじめて使用できます。)



配置と操作範囲（ワイヤスフラッシュ撮影例）

● 一つのスレーブユニットを使って自動発光撮影を行います。

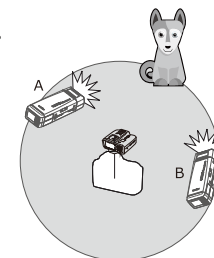


- 付属のホルダーによってスレーブユニットを固定します。
- 撮影前にテスト発光とテスト撮影を行なってください。
- スレーブユニットの位置、周辺環境、天気状況などの影響によって、伝送距離はより短くなることがあります。
- ワイヤス信号の干渉が非常に多いです。ミスフラッシュがあった場合、チャンネルを変更して干渉を避けてください。

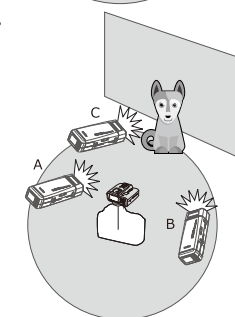
ワイヤス多灯発光撮影

スレーブユニットを二つまたは三つのグループに分け、光量比（倍率）を変更すると同時に、TTL自動発光撮影を行なうことができます。また、各フラッシュグループ（五つのグループまで）に異なる発光モードを設定して撮影できます。

● 二つのスレーブグループによって自動発光撮影を行います。



● 三つのスレーブグループによって自動発光撮影を行います。



AD200Proと神牛X1シリーズトランスミッターと一緒に使われる時に、フラッシュの下記機能はX1を通じてコントロールできます。

- 発光モード：TTL、M、Multi
- シンクロトリガー：前幕、後幕、ハイスピードシンクロ
- パワー大きさの調整・コントロール
- モデリングランプスイッチ
- ブザースイッチ

C.Fn : カスタム機能の設定

下記の表にある本製品応用欄を参照して、カスタム機能を使って設定してください。

カスタム機能符号	機能	設定符号	設定と説明	使用範囲制限
F1	ブザー	ON	起動	無し
		OFF	シャットダウン	
F2	S1/S2モードの選択	OFF	シャットダウン	Mモード
		S1	S1モード	
		S2	S2モード	
F3	自動待機	OFF	シャットダウン	無し
		30 min	何の操作もないと、	
		60 min	自動に待機します。	
		90 min		
F4	遅延発光	OFF, 0.01~30s	後幕トリガーとすることが できます	M/Multiモード
F5	マスク	OFF	マスク機能シャットダウン	Mモード
		N1	マスク機能起動：2回トリガー することは一つのサイクル です。第1回トリガーの時に 発光します。	
			マスク機能起動：2回トリガー することは一つのサイクル です。第2回トリガーの時に 発光します。	
F6	t0.1表示	ON	表示	Mモード
		OFF	表示しません	
F7	ID設定	OFF	オフ	ワイヤレスモード
		01~99	01~99からいずれかの 数字を選択できます	
F8	色温度コンスタン トモード	OFF	オフ	M非ハイスピードモード
		ON	オン	

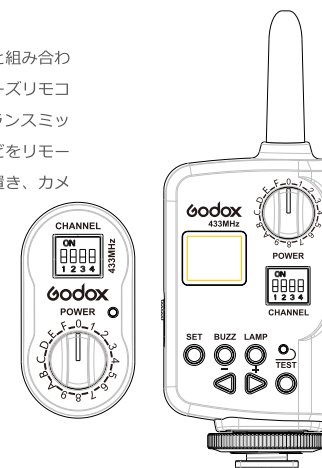
1. <MENU> ボタンを押して、C.Fnメニューに入ります。
2. カスタム機能符号の選択
調整つまみを回してカスタム機能符号を設定します。
3. 設定の変更
 - <SET> 設定ボタンを押すと、カスタム機能番号は点滅します。
 - 調整つまみを回して欲しい番号を設定します。<SET> ボタンを押して確認します。
4. C.Fnメニューの退出
 - <MENU> ボタンを押して退出します。

他の応用

外付けワイヤレスコントロール機能

フラッシュはワイヤレスコントロールソケットを内蔵しており、特定のリモコンと組み合わせて使用すると、フラッシュのワイヤレスコントロールを実現できます。FTシリーズリモコンのレシーバ側をワイヤレスコントロールソケットに差し込むと、リモコントランスミッターを通じて、フラッシュのパワースイッチと大きさ、フラッシュのトリガーなどをリモートコントロールできます。また、トランスミッター側をカメラのホットシューに置き、カメラのシャッターを通じてシンクロトリガーを行なうこともできます。

- もっと多いリモコン使用方法について、FTシリーズリモコンの取扱説明書を参照してください。
- AD200Proワイヤレス機能をシャットダウンします。




シンクロソケットトリガー

シンクロソケットの規格はΦ3.5mmであり、ここにシンクロケーブルまたはトリガープラグを差し込み、フラッシュに対しシンクロトリガーを行なうことができます。

保護機能

1. 熱保護

- フラッシュヘッドの過熱と損傷を防ぐため、1/1パワーで40回を超えた快速連続発光を行なわないでください。40回連続発光を行った後、少なくともフラッシュを10分冷却させます。
- 40回を超えた連続発光を行なった後、引き続き複数の発光を行なうと、フラッシュ内部の過熱防止機能はイネーブルになる可能性があります。リサイクル時間は10秒以上になります。この現象が起こった場合、フラッシュを約10分間冷却させると、フラッシュは正常に戻ります。
- 熱保護が起動すると、ディスプレイに符号  が表示されます。熱保護機能をイネーブルにさせる連続発光回数：

パワー	発光回数	
	ストレートチューブランプヘッド	むき出しチューブランプヘッド
1/1	40	60
1/2+0.7	50	80
1/2+0.3	60	100
1/2	75	120
1/4(+0.3,+0.7)	100	150
1/8(+0.3,+0.7)	200	200
1/16(+0.3,+0.7)	300	300
1/32(+0.3,+0.7)	500	500
1/64(+0.3,+0.7)	1000	1000
1/128(+0.3,+0.7)		

ハイスピードシンクロモードで、熱保護機能をイネーブルにさせる連続発光回数：

パワー	発光回数	
	ストレートチューブランプヘッド	むき出しチューブランプヘッド
1/1	20	50
1/2(+0.3,+0.7);	30	60
1/4(+0.3,+0.7);	50	75
1/8(+0.3,+0.7);	75	100
1/16(+0.3,+0.7)	80	150
1/32(+0.3,+0.7)	100	200
1/64(+0.3,+0.7);		
1/128(+0.3,+0.7);		

2. 他の保護

- デバイスの安全を保障するため、システムは常に予防保護を行なっています。参照として下記に提示符号を提供します。

LCD表示	警告内容
E1	フラッシュのリサイクルシステムに故障があります。リサイクルトリガーを行なうことができない場合、再起動してください。再起動しても役立つ場合、メンテナンスしてください。
E2	デバイスの内部温度が高過ぎて、トリガーを10分間中止してください。
E3	フラッシュチューブの両端に電圧が高過ぎて、メンテナンスしてください。
E9	ファームウェアアップグレードに誤りがあります。正しくファームウェアをアップグレードしてください。

仕様

タイプ	AD200Pro	
ワイヤレススレーブユニットモード	*ワイヤレスモード (対応Nikon&Canon&Sony)	
発光モード	ワイヤレスシャットダウン	M/Multi
	ワイヤレススレーブモード	TTL/ M/Multi
ワイヤレススレーブユニット対応カメラ	Nikonカメラ(マスターユニットX1T-N) Canon EOSカメラ(マスターユニットX1T-C)	
	Sonyカメラ(マスターユニットX1T-S) Fujifilmカメラ(マスターユニットX1T-F)	
	Olympusカメラ(マスターユニットX1T-O)	
ガイドナンバー(1/1段)	ストレートチューブランプヘッド：52(m ISO 100, @35mm)	
	むき出しチューブランプヘッド：60(m ISO 100, AD-S2スタンダードリフレクター, @28mm使用)	
発光持続時間t0.1(約)	ストレートチューブランプヘッド：1/220秒-1/15380秒	
	丸型口金、むき出しチューブランプヘッド：1/220秒-1/13510秒	
POWER	200W	
段階	9段：1/256~1/1	
ストロボ発光	あり(回数：90回；周波数：99)	
フラッシュ露出補正(FEC)	±3段階の間で1/3段をステップとして調整できます	
シンクロ方式	ハイスピードシンクロ(最高1/8000秒)、前幕シンクロ、後幕シンクロ	
遅延トリガー	0.01~30秒	
マスク	√	
ブザー	√	
Modelモデリングランプ(LED)	√	
光制御トリガー	S1/S2	
発光持続時間の表示	√	
●ワイヤレスフラッシュ(ワイヤレス2.4G伝送)		
ワイヤレス機能	スレーブユニット、シャットダウン	
制御可能スレーブユニットグループ	5グループ：A, B, C, D, E	
伝送距離	100m	
チャンネル	1~32	
●電源		
電源	リチウム電池：14.4V/2900mAh	
フルパワー発光回数	500回	
リサイクル時間	約0.01-1.8秒	
電池残量指示	√	
節電	フラッシュは30分(調整可能)において何の操作もしなかった場合、自動に待機状態に入ります。	
●シンクロトリガー方式	3.5mmシンクロケーブル、ワイヤレスコントロールソケット	
●色温度	5600±200k	
色温度コンスタントモード	フルレベル変動±100K	
●サイズ		
体積	172x54x75mm(ランプヘッドを含みません)	
正味重量	590g(ランプヘッドと電池を含みません)	

ファームウェアアップグレード

本製品はUSBポートを通じてファームウェアアップグレードを行なうことができます。ソフトウェアの最新情報及びその説明は公式サイトをご参照ください。

- 本製品のUSBポートはType-Cポートで、Type-C USBケーブルを使ってください。
- 本製品のファームウェアをアップグレードする時に、Godox G3プログラムソフトウェアのサポートが必要です。ファームウェアをアップグレードする前に、「Godox G3ファームウェアアップグレードソフトウェア」をダウンロード・インストールしてから、相応するファームウェアを選択してください。
- ファームウェアをアップグレードした後、その取扱説明書は最新電子バージョンをご参照ください。

メンテナンスと保守

- フラッシュは作動している時に異常が起こった場合、直ちに電源を切り、原因を究明してください。
- 本体を振動させないでください。本体表面のちりを掃除してください。
- 本体にわずかに熱が発生することは正常です。特別な需要はない場合、連続にトリガーしないでください。
- フラッシュのあらゆるメンテナンスは弊社の指定したオリジナル部品提供可能な修理業者より担当します。
- 保証期間は1年間です。ランプチューブなどの消耗品は保証範囲内に属しません。
- 自分勝手にフラッシュを修理した場合、フラッシュの1年間保証期間が取り消されます。メンテナンスする時、関係費用を受け取ります。
- 本製品は故障が起こったり、水に濡れられたりした場合、専門者にメンテナンスされた後、はじめて使用できます。
- 弊社は予告なしに技術を変更することがあります。